

「感性をはぐくむ修学旅行」に向けた修学旅行応援団

1 趣 旨

平成 19 年度から 20 年度にかけて当協会では、多くの方々のお力を得て研究グループを結成し、会議を重ね「感性をはぐくむ修学旅行」を提案いたしました。この提案を軸に、平成 20 年の 7 月の研究大会で発表会を行い、ある程度の評価を得ることができました。

今後、新しい学習指導要領への移行に向けて、様々な取り組みが学校で行われると推測されますが、特別活動の集団宿泊的行事においても、創意工夫された様々な実践がなされると思います。そのとき、修学旅行においても『生きる力』を育てることを目指した学習論が展開され、その中心として、『知性と感性』に着目した教育実践が展開されることを願っています。

そのために、特に修学旅行における体験学習の重視という観点から、体験を感動に高める方策が必要となります。その方向として、『感性をはぐくむ修学旅行』の考え方を広く各方面に発信できればと思います。

その一助として、皆様のお力をいただき、修学旅行応援団を結成しました。今後、各学校の実践を手助けするとともに、修学旅行の向上に寄与したという趣旨です。

2 構成メンバー（順不同・敬称略）平成 21 年 1 月現在

企画会議メンバー 団長：渡部 邦雄（日本感性教育学会理事長）
遠藤 友麗（聖徳大学教授）
関 範夫（神奈川大学講師）
後藤 太（平山郁夫シルクロード美術館評議員）
萩原 和夫（ぎょうせい「悠+」編集長）
菊池 清広（教育家庭新聞社企画編集部長）
小野 具彦（青梅市教育委員会）
須藤 寛（KNT 団体旅行事業本部カンパニー課長）

応援協力メンバー（全国各地の人々）

これからの具体的展開において、その地の人でなければ感じえない大切な文化（感性学習の視点）を発信していただきながら、修学旅行の支援体制を強化していただく。

事務局 全修協（中西 朗、鈴木和夫、山本精五 他）